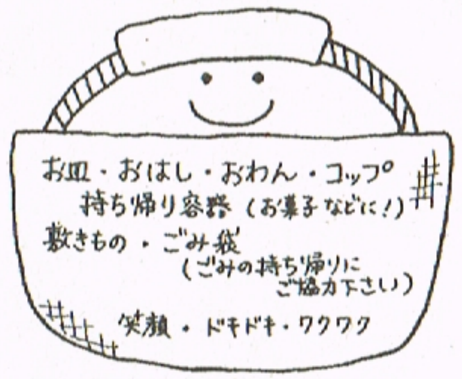
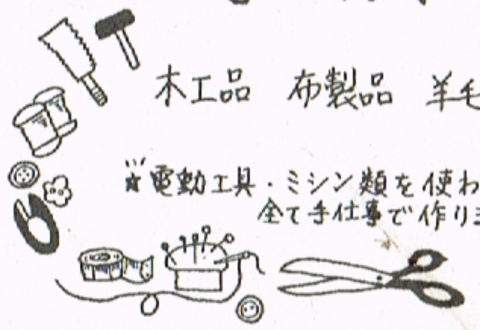
持ちもの



お皿・おはし・おわん・コップ
持ち帰り容器（お菓子などに！）
敷きもの・ごみ袋
（ごみの持ち帰りにご協力下さい）
笑顔・ドキドキ・ワクワク

自然素材 手づくりマーケット



木工品　布製品　羊毛製品　など…

☆電動工具・ミシン類を使わず
全て手仕事で作りました

有限なエネルギー 電気 ガス を 石油 使わない 1日を 楽しもう!!

自然食を味わおう

玄米餅ビュッフェ　米粉のお菓子

☆大地産 無農薬 無除草 栽培 うるち米&もち米を使用
☆電気・ガス・オーブンを使わず、
火・炭・薪・かまど・石窯で作りました

おすそわけ

季節のふるまい野菜汁
（焼き火で？）

あたたかい薬草茶
（薬草の販売もあるよ！）

「やってよかった！
はじめの一歩」
おすそわけ版

2013!

「あなたと健康」
2017年特集号

持ち込めないもの

平和への願いを込めて…フィナーレ

輪・環・和・話になってわらべうた
平和の願いの玉入れ
♪平和の鐘を歌おう！踊ろう！
舞おう！

受付で
ボールに
願いを書こう！

虹染めシルクが活躍!!

便利・楽の代替エネルギーは
ずく（骨身を惜しまない）そして見えない自然の力
限りある地球資源を大切にするには
使わない努力 そして自然への畏敬
地球上の争いは
エネルギー資源の利権争い
平和の鐘を鳴らすのは 地球への優しさ

五感で感じよう遊び

野外人形劇『ねずみのすもう』
玄米餅つき
足湯 de おはなし会
草木染め

おはなし会に
参加すると 読書キャンペーンスタンプがもらえる!!

ちから餅の
販売も
あるよ！

シルク（有料）に
虹染めして
フィナーレで一緒に
飾りましょう!!

五穀豊穣

重に!!

自家用車でなく、徒歩・
自転車・電車・バスなど
でお越し下さった方には
素敵なプレゼントを
ご用意しております。
受付時お申し出
下さい。

Thank you!

2019年度 入園児も募集中!!
ご案内書類はスタッフまで…

〒389-1204 飯綱町倉井379　☎026-253-8902
daichi.aoyama@gmail.com

認定こども園
大地

未来の子どもたちに胸をはって残せるものを目指して

第26回 大地こどもまつり

2018年11月3日（祝）
9:30～15:00 雨天決行

自然のままに…

私は母のそばにいて、母が手でものを作るのを見ているのが大好きだった。母は牛の乳を搾ったり、バターを作ったり、料理をしたり、畑まで歩いたり、哲学的なことを考えたりする合間をぬい、三十分、一時間と時間を見つけては色とりどりの模様を布に縫いつけるのだった。母はそういった手仕事を、彼女の人生にとって重要かつ不可欠なものと考えていた。

ある日、母は完成したばかりのショールを姉のスラジにプレゼントした。

「素敵なショールね、お母さん。柔かくて鮮やかで。みんなが見るように、壁の目立つところに掛けておくわ。汚すといけないから着ないようにする。何かをこぼしたりしたら大変だし」

母は壁にショールを飾るような派手なことを喜ばなかった。母にとって芸術や手仕事は、飾ったり見せびらかしたりするものではなく、実用のためのものだった。

「私は、あなたが着るために作ったのよ。人に見せるためじゃないわ。綺麗なものを壁に飾っておいたら、きたないものを身につけることになるわ。だからどんどん着なさい。美しく、役に立ち、長持ちするものを作ることを学びなさい。そうすれば、古いものがくたびれ始めた時には、新しいものが出来上がっているわ」

「美しく、役に立ち、長持ちする」という言葉は胸に残り、以来、私の心の中で鳴り響いている。

「お母さんのお裁縫はとても綺麗だけど、一つのものを作るのに半年や一年、ときにはもっと長い時間がかかるわ。最近は同じことをあっという間にやってしまう性能の良いミシンがあるのよ。私が探してあげようか」と姉のスラジが尋ねた。

「どうして？」と母は聞いた。

「時間が節約できるのよ、お母さん」

「時間が足りなくなるとでもいうの？　ねえお前、永遠っていう言葉を聞いたことある？　神様は時間を作るとき、たっぷりとたくさん作ったのよ。私は時間が足りないなんていうことはないわ。私にとって、時間は使い果たしてしまうものじゃなくて、いつもやってくるものなのよ。いつだって明日があり、来週があり、来月があり、来年があり、来世さえあるのよ。なぜ急ぐのかしら。」スラジは納得しているように見えなかった。「時間を節約し、労働を節約して、それ以外の事をもっとできた方が良くないかしら？」

「あなたは無限なものを節約して、限りあるものを費やそうとしているのよ。ミシンは金属から作られていて、世界には限られた量の金属しかないわ。それに金属を得るためには採り出さなければならない。機械を作るためには工場が必要で、工場も暴力に満ちているわ！　どれだけ多くの生物が殺され、金属を掘るため地下深く潜るような仕事でどれだけ多くの人が苦しまなければならないでしょう？　彼らの苦しみの話を聞いたことがあるわ。なぜ自分の便利さのために、彼らを苦しめなければならないの？」スラジは理解したように見えた。

スラジがうなずくのに勢いづいて母は続けた。

「私の体力が足りないってことはないから、いつだってエネルギーがあるわ。それに私は仕事が楽しいのよ。裁縫も、料理も、洗濯も、掃除も、神聖な心持ちでなされるすべてのことが瞑想なの。あなたは、私の瞑想を取り上げようというのかしら？　針仕事で忙しいとき、私は平和な気持ちになるの。すべてが静かで、穏やかだわ。ミシンがガタガタいっているときに瞑想するなんて想像もできないわ」

「それに、ミシンが仕事を減らすというのは、単なる錯覚に過ぎないかもしれない。年に一つか二つのショールを作る代わりに、年に十ものショールを作る羽目になって、材料をもっとたくさん使うことになるかもしれない。時間を節約したとしても、余った時間で何をするというの？　仕事の喜びは私の宝物みたいなものなのよ」

これはまさに真実だった。刺繍をしているとき、母はほんとうに幸せそうだった。母の針仕事の最も驚くべき点は、母がそれから多大な喜びと幸せを引き出していたことだった。

サティシュ・クマール 著
『君あり、故に我あり 依存の宣言』
第4章 作ることの喜び より

この星に、これ以上"成功者"はいりません。
この星がいまどうしても必要としているのは、
平和のつくり手、癒す人、修復する人、物語の語り手、
そういった愛を持つ人々です。
この星には、それぞれの場所で、
丁寧に豊かに暮らす人が必要なのです。

ダライ・ラマ14世